

報道関係者各位

株式会社北電子
グローリーナスカ株式会社

会員管理システム P・BANK EXSIM × ホールコンピューター VORFORCE

新機能 「遊動分析」 発売

グローリーナスカ株式会社と株式会社北電子は、新機能「遊動分析」を2017年1月より発売をいたします。

この「遊動分析」は、グローリーナスカの会員管理システム P・BANK EXSIM 及び IC カードシステム G8 EXSIM で実現します。また、北電子のホールコンピューター VORFORCE（ボルフォース）とシステム連携することにより、分析機能がさらにアップします。

現在のパチンコ業界は、遊技機の射幸性の抑制に向けた取り組みや参加人口の減少など、大きな課題に直面しております。また、「レジャー白書 2016」によれば、平成 27 年中の市場規模は 23 兆 2290 億円、参加人口は 1070 万人となり、いわゆるヘビーユーザーに頼ったホール経営も課題となっております。このような状況の中、これからのホール経営は低射幸性時代を迎えることになり、今まで以上に遊技客の動向を捉え、スピーディーな営業戦略の立案、実行、評価が求められます。

グローリーナスカと北電子は、会員管理システムとホールコンピューターのノウハウ、実績を活かし、来たる低射幸性時代に向け、新機能「遊動分析」を提案いたします。

製品名	会員管理システム P・BANK EXSIM IC カードシステム G8 EXSIM
発売元	グローリーナスカ株式会社

製品名	ホールコンピューター VORFORCE（ボルフォース）
発売元	株式会社北電子

以下、コンセプトへ続く

【コンセプト】

遊技「台」目線から遊技「客」目線へ

遊動分析で低射幸性時代に対応した新しいホール経営をサポートします

【遊動分析とは】

遊技客の動向の「見える化」

今まで見えていなかったものを“遊技台目線”から“遊技客目線”で「見える化」します。

ホールコンの課題である遊技客の人数や動向の把握、会員分析の課題である非会員の動向の把握について、データ融合により数値化し、「見える化」するのが「遊動分析」です。

【特長】

1. 遊技動向の見える化

遊技客データと遊技台データを融合し、遊技客の動向を「見える化」します。

2. 独自ロジック解析

独自のロジックにより遊技客全員の遊技動向を捉えます。

3. 導入のしやすさ

顔認証などの特別な機器がなくてもおこなえます。

【導入効果】

1. 遊技台入替の効率化

稼動数が同等でも、客数を把握することで、客回転率の高い、低いを分析できます。

(外す台、残す台の選定)

2. 施策の効果測定

台入替の前後の客数を把握することで、集客効果が測定できます。

3. 適正な遊技機配置による稼動貢献

遊技客来店時の初遊技台を把握することで、初遊技台をメイン位置に配置するなど、適正な配置がおこなえます。

※遊動分析はグローリー株式会社、グローリーナスカ株式会社、株式会社北電子から登録商標出願中です。

※プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。